

編集後記

社会保障研究所は本年1月に創立20周年を迎え、その記念行事として研究員一同による論文集『福祉政策の基本問題』を去る1月に東京大学出版会から刊行いたしました。また、2月には恒例の研究所シンポジウムを、「社会保障研究の回顧と展望」というテーマのもとに開催し、主として日本における社会保障制度および社会保障政策の推移の中で、社会保障研究がどのように展開されてきたかを顧み、今後の政策・研究課題を展望いたしました。この記録は本誌次号、21巻1号に掲載いたします。

本号ではシンポジウムのテーマとも関連しますが、本誌1巻1号から20巻4号までに掲載された論文・研究ノートの総索引を、時間的順序と著者別と、書評総索引の三種類にわたって収録いたしました。実はこの他に、テーマ別分類による本誌掲載論文・研究ノートのリストを作成し、それに基づきこの20年間の社会保障研究の内容を分析する試みが、2人の編集幹事経験者によって行われておりますが、紙幅と時間の関係で21巻2号に廻すことになりました。時間的には少し遅れますが、季刊誌発行20年の一区切りとして面白い試みであると思われます。

本号にはこの他に、自由論題で3本の論文と、研究所が本年度から開始した社会保障費の推計をもとに、本誌2号収録分よりかなり詳細に過去から現在に至る収支両面の動向を解説した資料を掲載しております。また当研究所編の2著とILO編『21世紀に向けて：社会保障の展開』を中心とする書評の3本は、現在社会保障が直面している問題を整理するのに役立つかと思います。

なお、この1年編集幹事の任に当って来た平岡公一が4月1日から明治学院大学に転出いたしました。また、新年度に当って、所内の各役廻りの交替があり、本誌編集幹事も新しく曽原利満、三上美英子、栃本一三郎の3名に変わりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(城戸)

編集委員長 福 武 直 (社会保障研究所長)

編集委員 青 井 和 夫 (津田塾大学教授)

飯 野 靖 四 (慶応義塾大学教授)

小 沼 正 (駒沢大学教授)

小 林 良 二 (東京都立大学助教授)

小 山 路 男 (上智大学教授)

地 主 重 美 (千葉大学教授)

編集幹事 宇 野 正 道 (社会保障研究所研究員)

城 戸 喜 子 (社会保障研究所主任研究員)

都 村 敦 子 (社会保障研究所研究部長)

保 坂 哲 哉 (金沢大学教授)

堀 勝 洋 (社会保障研究所調査部長)

三 浦 文 夫 (日本社会事業大学教授)

安 川 正 彬 (慶応義塾大学教授)

平 岡 公 一 (社会保障研究所研究員)

(五十音順)

季刊

社会保障研究 Vol. 20, No. 4, Spring 1985

(通巻 87 号)

昭和 60 年 3 月 25 日 発 行

編集・発行所

社 会 保 障 研 究 所

〒107 東京都港区赤坂2丁目19番8号

赤坂2丁目アネックスビル内

電話 (589) 1381

製 作

財団法人 東 京 大 学 出 版 会

〒113 東京都文京区本郷7丁目3番地の1

電話 (811) 8814